

だれもがしあわせになれる町に

看護師40年

やりとげました

病院勤務に夜勤はつきもの。ふじさく芙美子は総合病院で三交代勤務をつづけてきました。家族が眠っているあいだに、朝食を用意してからソツと家を出てい

きます。それを夫の徳治は、「いのちを削っているみたいだ。だれにもできることではない」と評しています。

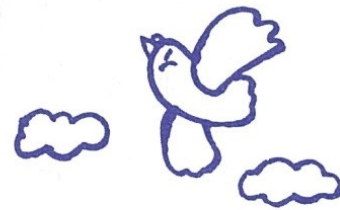
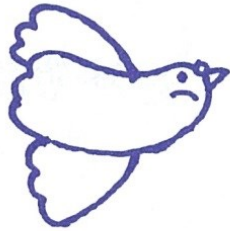
苦しみや不安に寄り添って

えられたもの

患者の深い悲しみや不安に耳を傾けてきたふじさく芙美子は、政治も高齢者やお母さん、こどもに耳を傾けることが大事と訴えています。

患者さんの多くは、若いときから一途に働き、こどものため家族のためと身を粉にしてきた高齢者です。その真摯な姿に感動し、人の役に立ちたいと思ってきました。そういう患者さんのような人こそ、しあわせになってほしいと願っています。しかし、くらしはますます大変になってきてい

ます。そういうとき、高齢者やお母さん、こどもを大切にする政治こそが必要と、いまふじさく芙美子は考えています。



人が好き

だれにも好かれるのは、実直で世話好きな母親のおかげ。ふじさく芙美子も人が好きです。



日本共産党

ふみこ ぶじさく 芙美子

プロフィール

学歴：◎福島県立富岡高校 茨城県土浦医師会附属准看護学院 茨城県立看護専門学校

職歴：◎水戸協同病院 水戸済生会総合病院 石島整形外科病院

趣味：ハイキング、映画鑑賞

家族：夫

住所：石塚 2394-28

新しさと

2014年2月号外 日本共産党の見解をお知らせします

発行：日本共産党城里町支部 城里町石塚 966-20 臨電 029 (288) 7606

城里町

このままでいいのですか？

あなたの良識と勇気が町をひらきます

アンケートへの協力 ありがとうございました

共産党城里町支部がおこなった町政アンケートへのご協力ありがとうございます。同支部とふじさく美子は届けられたご意見を町政に届けるため全力をつくします。

アンケートの自由記述欄に記されたいくつかをご紹介します。

町の将来

町の将来が見えない

町の将来各分野にわたってどのように進めようとしているのか目に見えない。一つの問題として農業が基幹産業だがTPPが実施されたら更に落ち込むと思うが、知恵をしばって町の名を高める施策を考えてほしい。(以下略)

原発・防災

東海第二原発の監視

東海第二原発で問題が起きたら居住してられないと思うので、監視を強力に進めないと解決にならない。

防災無線の取り付けを

旧常北には防災無線がない。これはぜひ取りつけてもらいたい。地震がいつくるか夜不安で眠れません。

役場の対応

役場の対応について

役場の窓口に行つて用件を話してもわからない人が多く、次々に人が変わってまた同じ話をする始末です。

ありえません

3・11のとき役場に行つたら山のようなおにぎりがあり、分けてくださいますか？と聞いたたら「本部ですからダメ」と。ありえません。



町政になにを望みますか

国保税の問題	9%
介護保険料の問題	10%
介護サービスの問題	10%
高齢者の配食サービスの充実	5%
水道料の問題	18%
児童館の設置、学童保育の充実	4%
文化施設の充実	3%
生活道路の整備	9%
下水道の整備	3%
農業後継者支援	7%
環境問題	3%
教育内容の充実	5%
商工業の振興	12%
その他	2%



名護市民がしめた良識と勇気

1月の沖縄名護市長選は、「辺野古移設反対、沖縄県内移設反対」というオール沖縄の声をとなえる稲嶺進さんが圧勝しました。安部政権の強圧をうけて沖縄選出の自民党国会議員や知事までが圧力に屈したなか、名護市民は圧力や金に屈せず、良識と勇気をもって稲嶺さんを選んだのです。

これからも野古移設をめぐる政府によるいろいろな画策が予想されますが、名護市民と市長は力を合わせ、良識と勇気をもって立ち向かっていくことでしょう。